



## 一学年 一年間を振り返って

一年生も入学から数えてはや一年を迎えようとしています。この間、新入生研修、体育祭、夏季休暇、文化祭といった学校行事を経験し、高校生活というものがあるのかというのを理解してくれただけではないかと思えます。定期試験や模試といった試験の多さ、通常の授業への取り組み、クラスや部活動での人間関係の難しさ等々、数え切れないほどの悩みを抱えながらも、いくつかの喜びが、僅かであっても生徒各々の経験の中に含まれていることを願ってやみません。

一学期は入学したばかりの緊張感によって夏季休暇までを乗りきってしまったようですが、夏季休暇を挟むことで二学期からの学校生活が大きく様変わりをした生徒もいるのではないのでしょうか。また、一学期はどうしてもうまくいかなかったことが、二学期ではうまくいくといったようなことも大きな変化のうちの一つです。逆に芳しくない方向へいってしまった生徒もいるのではないのでしょうか。そしてこの学年末では、それぞれの進路に向けて、コース選択、文理選択を迫られました。いよいよ本格的な進路へ向けての道のりがスタートしていきます。まだまだ先のことだと思っている生徒もいるかもしれませんが、しかしながら、時間は確実に流れています。

そんな今、生徒各々には、将来の自分の姿を思い描いてみてほしいと思っています。二十年後の自分を、です。そして、その二十年後の自分が、今の自分にとって必ず好きな自分であるよう想像してみたいと強く思っています。いよいよ二年生がスタートします。様々な思いを胸に、よりよい二年生であってほしいと願っています。

## 二学年 一年間を振り返って

こんにちは二年生です！二年生最大のイベントである修学旅行も終わって迎えた三学期。いよいよ進路のことを皆が意識し始めて、友人同士との会話でも、進路に関する話題が明らかに増えてきました。私は、大学への進学を元々希望していたのですが、具体的にどういった大学・学部にするか、一般受験や総合型・指定校推薦などの受験方式はどうするか、色々考えて二月の三者面談に臨みました。面談では担任の先生から色々なアドバイスをいただけてとても励みになりました。これからは家族や先生方とよく相談しながら、覚悟をもって進路を決めていきたいと思っています。頑張ります！

ところでつい先日、一つ上の先輩方が卒業されていきました。卒業式に参加した生徒会の友人から、先輩方の歌声がとても素晴らしかったと聞きました。一年後には、もう自分たちの番なのですね。本当にあつという間です。正直、まだ実感はありませんが、山村国際での残りの日々を、一日一日大切に過ごしていきたいと、想いを新たにしました。

最後に、イベントが少ない三学期ではありますが、それでも私たちのクラスでは、節分恒例の「豆まき」を行いました！男子の投げる豆は、当たると痛いですね(笑)。もちろん豆はしっかり拾っていただきましたよ。今年も友だちの分まで食べてしまいました！数日後、拾いそびれたお豆が見つかったのはこのだけのお密です。鬼のお面やお豆を用意してくれた先生に感謝です。これからの一年が、良い年でありますように！ありがとうございました。



## 三学年 一年間を振り返って

高校生活の集大成ともいうべき三年生、なかでも進路決定は最大の目標であり、新学期が始まってすぐの四月下旬にはウエスタ川越において「進路ガイダンス」が行われました。

このガイダンスを期に本格的に総合型選抜試験に向けて、あるいは一般受験に向けて、それぞれが具体的な取り組みが始まりました。夏休みは総合型選抜入試の準備をしつつ、オープンキャンパスに参加し最新の情報を得る、あるいは入試対策講座を受ける生徒、また一般受験に向けて夏期講習に参加する生徒等、時間を惜しんで学習に取り組む姿が見られました。

このような多忙極まる三年生ですが、新学期が始まるとすぐに、実施された校外学習では念願の「東京ディズニーシー」へ。高校生活最初で最後の東京ディズニーシーは日ごろの学校生活から解放されて楽しいひと時を過ごし、よい思い出になったのではないのでしょうか。また、五月末の体育祭では競技種目に加え、恒例のダンスが披露され、担任の先生方が生徒と一緒に踊る姿にクラスの一体感が感じられました。秋には高校生活最後のメインイベントである紫藤祭があり、クラスの模擬店や部活動の演奏演技の発表に、今、この一瞬に生きる姿に感動をおぼえました。二学期終盤には推薦入試の結果が続き、合格に安堵する顔があちこちで見られました。同時に共通テストに備える生徒の頑張っている姿も。

「受験は団体戦」——一月九日の学年集会では一般受験に向かう友人への熱い励ましの拍手、「壮行会」には物足りない感もありましたが、受験に向かう友人へのエールになったことと思います。二月、三月と一般受験が続くなかでの三月三日「卒業式」では、何度も練習した『正解』の歌声が会場いっぱい響きわたりました。それぞれが確実に一歩踏み出したことを実感した「卒業式」でした。

# 29th Annual Speech Contest 19th Annual Recitation Contest



第29回スピーチコンテスト及び第19回レシテーションコンテストが、令和7年12月17日に本校体育館にて開催されました。今年度は1年生のみの出場となりましたが、全校生徒の前で臆することなく、堂々と発表する姿が見られました。

### Speech Contest

- 1-2 Tonima Belal **1st Place Winner**
- 1-6 Misora Sasaki *Misora Sasaki*
- 1-6 Yujin Fujita **2nd Place Winner**
- 1-7 Pyae La Wun *Pyae La Wun*

### Recitation Contes

- |                      |                       |                          |
|----------------------|-----------------------|--------------------------|
| 1-1 Banri Shimada    | 1-3 Shunta Nonaka     | <b>1st Place Winner</b>  |
| 1-1 Lina Liu         | 1-4 Toma Kometani     | <i>Hiroka Sekine</i>     |
| 1-2 Honoka Kamei     | 1-4 Fuga Tomoda       | <b>2nd Place Winner</b>  |
| 1-2 Kotoha Mori      | 1-6 Juna Maenishihara | <i>Lina Liu</i>          |
| 1-3 Hinata Shimazaki | 1-7 Hiroka Sekine     | <b>2nd Place Winner</b>  |
|                      |                       | <i>Juna Maenishihara</i> |

十二月に、福島県にあるブリティッシュヒルズにて二泊三日の英語研修を実施しました。今年度は一年生十二名、二年生二名の計十四名が参加しました。出発時は雪が少ない予報でしたが、現地に近づくにつれて雪が降り始め、一面の雪景色の中での研修となりました。生徒たちは英国の雰囲気あふれる環境に驚き、期待を高めていました。滞在中はオールイングリッシュの環境で、マナーハウスの探索やカードマジック、スノーカー体験などのプログラムに取り組みました。食事はピュッフェ形式で、スタッフと英語で会話する様子も見られました。自由時間にはティールームやバブで過ごすなど、それぞれが施設の特色を楽しんでいました。ナイフだけを使って作るスコーン作りも好評でした。

最終日には、限られた材料で卵を守るチャレンジ活動にグループで取り組み、協力しながら全チームが成功しました。短い期間でしたが、生徒たちは楽しみながら実践的な英語に触れ、有意義な研修となりました。来年度も多くの参加を期待しています。



進路報告 進路指導部より

【大学】

令和七年度卒業生三一人のうち、約七〇・八％（昨年度六九・六％）の生徒が四年制大学への進学を決めている。一般選抜を受験している生徒の中には三月下旬まで結果を待つ生徒もいるため、この数字は三月末日まで変化していく。

今年度は学力試験型入試を年内に実施する大学も増え、十二月までに多くの生徒が総合型選抜や学校推薦型選抜にチャレンジをした。その結果、約一七〇名の生徒は十二月までに進学先を決定することができた。

また、一月十七日・十八日に実施された大学入学共通テストは二〇九名が受験し、二月上旬に私立大学、二月下旬には国公立大学の一般選抜がスタートした。大手予備校のデータによれば、今年度の一般選抜は多くの大学の出願状況が昨年度に比べて増加している傾向があり、本校の生徒達にとっては非常に厳しい戦いとなった。そのような中で、本校の三年生は最後まで諦めずに努力を続け、難関私立大学をはじめ、国公立大学の合格を勝ち取った。

以下は令和七年度卒業生の入試結果である。  
(令和八年三月二十一日現在)

【短期大学】

短大への進学を決めた生徒は、昨年度から大幅に減少して二・六％（昨年度八・五％）であった。そのうち、系列校でもある山村学園短期大学へ二名の生徒が進学する。近年、四年制大学志望者の増加と共に短期大学志望者は減少傾向にある。

【専修学校】

専修学校を希望する生徒は、昨年とほぼ同じで十六・〇％（昨年度十六・三％）であった。今年度は医療系・美容系・調理系などの資格取得が可能な学校の人気が高い。各自が将来の目標に合わせ、必要な知識・技術を身に付けられる学校へ進学を決定した。

【就職】

今年度は警察や消防といった公務員を希望する生徒が多く、校内では筆記試験に向けての対策や面接練習をおこなった。その結果、埼玉県警察、警視庁、入間東部地区事務組合消防本部から内定が出ている。

令和七年度卒業生入試結果



国立大学	1
埼玉大学	1
福島大学	2
北見工業大学	1
長野大学	1
私立大学	7
亜細亜大学	7
跡見学園女子大学	3
茨城キリスト教大学	2
江戸川大学	1
桜美林大学	2
大妻女子大学	4
開智国際大学	1
学習院大学	1
神田外語大学	1
京都芸術大学	1

共立女子大学	2
杏林大学	3
工学院大学	2
國學院大學	1
国際武道大学	1
国士館大学	12
駒澤大学	4
埼玉医科大学	2
埼玉工業大学	4
実践女子大学	2
十文字学園女子大学	6
淑徳大学	7
順天堂大学	3
城西国際大学	1
城西大学	15
尚美学園大学	14
昭和女子大学	2
白百合女子大学	1
駿河台大学	7
成蹊大学	4
西武文理大学	2
創価大学	1
大正大学	19
大東文化大学	31
高千穂大学	3
拓殖大学	12
玉川大学	1
千葉工業大学	18
鶴見大学	1
中央大学	1
津田塾大学	2
帝京大学	13
帝京科学大学	1
帝京平成大学	5

デジタルハリウッド大学	1
東海大学	3
東京家政大学	3
東京家政学院大学	1
東京経済大学	5
東京工科大学	5
東京国際大学	33
東京女子体育大学	1
東京成徳大学	3
東京電機大学	4
東京農業大学	4
東京未来大学	1
東都大学	2
東洋大学	11
獨協大学	1
二松学舎大学	1
日本医療科学大学	9
日本栄養大学(女子栄養大学)	4
日本工業大学	1
日本女子体育大学	1
日本体育大学	1
日本大学	4
文化学園大学	2
文教大学	6
文京学院大学	10
星稜大学	1
武蔵大学	11
武蔵野音楽大学	2
武蔵野学院大学	1
武蔵野大学	4
明治薬科大学	2
明星大学	1
目白大学	1
立正大学	13

# 三送会

令和八年二月二日に送別会が行われました。教員や部活動の後輩からメッセージをもたらした三年生は笑顔で溢れ、中には涙する様子も見られました。三学年教員団からは、渾身の生パフォーマンスが披露され、その会一番の盛り上がりとなりました。高校三年間で得られた経験が、今後も卒業生の力になってくれることを願っています。また、出会った友人達と助け合い、切磋琢磨しながら過ごしていくことをお祈りいたします。



## 事務室だより

事務長 師岡 昇

皆様には、授業料の納入、国の就学支援金及び埼玉県の父母負担軽減事業補助金申請等におきましては、皆様のご協力により手続きが全て完了し、現在届け出のある授業料等振替口座への振込処理をいたしましたので、確認をお願いいたします。

なお、授業料無償化についての詳細な情報が国や県からも無いことから、現状では令和八年度も同様の徴収を昨年度の方法でお納めしていただくこととなります。授業料無償化についての情報が分かり次第、保護者等の皆様にご連絡いたします。

新二年生・新三年生の方々については、令和八年度も引き続き「国の就学支援金・県の父母負担軽減事業補助金」についての書類を提出していただくこととなります。例年通りですと、第一回目の申請は六〇七月に全校生徒を通してお知らせいたします。お手元に資料が届かない場合は、事務室までご連絡ください。

日頃、事務事業に対しまして多大なご理解とご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。事務事業や施設関係で、ご不便をおかけしている所もあるとは思いますが、全ての生徒が安心・安全に勉強や部活動に打ち込める環境作りを順次整えていきたいと思っておりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

# 活躍

## pickup

### している 部活動

## 放送部

放送部は、12月25日に坂戸市が主催する映画鑑賞講座「オルモシネマ倶楽部VOL4」のMCを担当しました。映画鑑賞後のトークショーでは、女優の沢田亜矢子さんと映画撮影の裏話や高校生時代の思い出などについてお話ししました。当日足を運んでくださった皆さまからは、「トークショーが面白かった」「高校生の純粋な言葉が良かった」などの感想をいただきました。今後も地域との繋がりを大切にして活動を広げていきます。



## 男子バスケットボール部

新人戦県予選の大会結果

- 山村国際 (104) ・春日部東 (38)
- 山村国際 (62) ・伊奈園総合 (53)
- 山村国際 (76) ・浦和実業 (70)
- 決勝リーグー
- 埼玉栄 (77) ・山村国際 (42)
- 正智深谷 (91) ・山村国際 (41)
- 山村国際 (97) ・慶應義塾志木 (81)



## 吹奏楽部

結果として埼玉県3位となり、関東大会への出場は叶いませんでした。今大会で得た気持ちを活かし、次大会ではさらに良い結果を残すべく邁進してまいります。保護者の皆様をはじめ、応援してください。たすすべての皆様に感謝申し上げます。今後とも、山村国際高等学校男子バスケットボール部をよろしくお願いいたします。

埼玉県吹奏楽コンクール 地区大会 金賞

埼玉県吹奏楽コンクール 県大会 銀賞

ブラジシンフォニーコンクール東日本大会 最優秀賞 全国大会出場

吹奏楽の日in埼玉 室内発表会

サクソフォン4重奏 審査員賞・優秀賞

埼玉県アンサンブルコンテスト 地区大会

クラリネット8重奏 金賞・代表

打楽器6重奏 金賞・代表

クラリネット8重奏 銀賞  
打楽器6重奏 金賞・埼玉県代表

さいたまアンサンブルフェスタ

金管8重奏 埼玉県知事賞・金賞  
クラリネット8重奏

芸術文化実行委員会 会長賞・金賞

第11回全日本ブラジシンフォニーコンクール全国大会本選会

最優秀準グランプリ賞・最優秀賞

第5回冬季演奏会

(第14回首都圏学校交歓演奏会予選) 金賞

第31回西関東アンサンブルコンテスト

打楽器6重奏 銅賞

JBA埼玉県部会 第3回デュエットコンテスト

高校生部門 優秀賞

2025年度第15回 日本管打・吹奏楽学会作曲賞本選会

モデルバンド出演

第11回全日本ブラジシンフォニーコンクール全国大会で受賞した「最優秀準グランプリ賞」、初出場となった第5回冬季演奏会にて「金賞」、さいたまアンサンブルフェスタにて獲得した「埼玉県知事賞」、そして第31回西関東アンサンブルコンテストへの初出場は大きい反響をいただきました。

日々の努力がたくさんの賞として残りました。新たな指標として意識し、

2025年度を超える新年度を目指します。

2025年度は「第1回定期演奏会」、「第2回定期演奏会」を年度内連続開催し、沢山のお客様に聴いていただきました。音楽の本来的カタチを大切に、これからも「一致響力」した山国サウンドを届けて参ります。

